**剱岳、立山山行**

**日時　平成２４年９月７日（金）～１０日（月）**

**場所　富山県**

**参加　6名**

**９月７日～8日**

**9月7日　22:20　津田沼駅でピックアップ、新小岩で1名ピックアップして関越道を下る。高坂PAでもう一台と合流し、2台に3人づつ乗り込み立山を目指す。館山駅には8日の5:30ごろ到着。天気は良好、車を運転してきた状態であるが6名元気に出発、ケーブルカーに乗り、バスに乗り継ぎ、室堂に8時ごろ到着。当初の予定は剣山荘に一泊し剱岳の登山を開始する予定であったが。天候の状況を判断し、最初立山を登り、剣御前小屋に宿泊するように予定を変更した。8:15雄山を目指して整理された遊歩道を登る。間もなく一ノ越山荘に到着（9:10到着、9:15出発）小屋越しに剱岳が眺望できた。更に登山を続け、間もなく雄山頂上に到着、かなりの混雑だ。3003ｍのところに祠がありそこでお祓いをしてくれたが遠慮した。メンバーの内3名はお祓いを受けご利益を享受した。天候は益々よくなり風もなく絶好の登山日和となった。ここから僅かに頭を剱岳が覗かせていた。10:40に再び登山開始。間もなく下方に黒部ダムが青色の水を湛えた姿が見え隠れし始める。薄気味悪いほどの青さだ。30分ほどで大汝山に到着、更に登山を続け内蔵助カールのコル付近で12時になったので昼食を摂る。12:15に出発、この付近から少しづつ天候が怪しくなる。12:40に真砂岳に到着したが付近は白一色に包まれ頂上一帯はガスに覆われてしまった。天候が改善する様子は見られないので別山をバイパスし、剣御前小屋を目指した。最初はそれでもガスが薄くなったり濃くなったりしていたので道は判り易く、迷うことはなかった。しかし暫く行くと雨が激しく擦り始めたので雨具を装着しての行動となったが、間もなく剣御前小屋に到着した（13:45）室堂から5時間30分の時間を要した。剣御前小屋は比較的余裕のある山小屋でかなりの宿泊客で賑わった。一部屋に6名がゆったりと宿泊でき快適であった。水はあまりなく1ℓ100円の有料であった。標高がかなり高い所にあるためであろうか。**

**9月9日**

**御前3:30起床、いよいよ今日が剱岳の登山日だ。天気は良好、登山予定を変更した甲斐があったと言うことだ。4:35暗闇の中ヘッドライトを頼りに登山開始、ここからしばらく下降が始まり300ｍほど下ることになる。暗闇の中であるから下方は真っ暗闇で奈落の底に落ちていく容易な山道だ。暫く下山を続けると次第に明るくなってきて5時頃には剱岳の右片付近がかなり明るくなり始めた。5:30頃にお日様が姿を現して、剱岳にも朝日が当たり始め、これから征服に掛かる山を感慨深く見つめた。5:55に剣山荘に到着。ここで装備を整え登山を開始。大きなザックは小屋に預け、サブザックに最低限の持参物を詰め込み、スリングを肩に掛け、カラビナを取り付けもしもの時に備えた。6:12いよいよ剱岳の登攀開始だ。天候は良好、足場も良好申し分のない登山日和だ。登山者はそれほど多くなく、渋滞することはなさそうだ。途中でご来光を剱岳の頂上で拝んだ登山者が下山してくる時とタイミングが合い擦れ違いが難しい所では待ち時間がかなり必要であった。ただこの山は登山ルートと下山ルートが区分けされている箇所が何か所かある。例えば有名なカニのたてばいは登りルートに指定され、カニのよこばいが下山ルートに指定されている。6:30ごろ一服剱に到着、更に登山を続け7:40に前剱に到着、前剱までの登山道はガレバの道でしかもかなり勾配もあり落石に注意しながら登る必要がった。7:50に前剱を出発、平蔵のコルを経由して、カニのたてばいに取り掛かる（8:40）。かなりの角度の岩登りであるが、確りとした白色に光り輝く鎖がガッチリとガードしてくれていて、しかも足場もしっかりと確保でき慎重に登れば危険はない。カニのたてばいを過ぎると約20分で頂上に到着。天気は良好で360度の大パノラマの眺望だ。西南方面は富山湾がはっきり遠望でき、北東方面には白馬山、東側には五龍岳、ドッシリと存在感がある鹿島槍ヶ岳が聳え、遠方には南アルプス、富士山、八ヶ岳の連山等々が雄姿を見せていた。30分ほど頂上に留まり大パノラマを堪能したのち下山を開始した（10:00）下山開始から20分ほどでカニのよこばいに取り掛かる。こちらも鎖でガッチリガードされており、また足場もしっかり確保できるため慎重に下山すれば危険はない。暫く下山を続けると少しづつ雲行きが怪しくなり、あたりにガスが掛かり始めた。前剱への下山途中でオコジョに出くわした。かなり警戒心の強い動物で、石積みの合間に隠れて中々姿を見ることが出来なかったが、突然榛松に向かって飛び出したところをうまくカメラに収めた。そうこうしているうちに下山も終わりに近づき、13:00に剣山荘に到着した。剣山荘は標高が2000ｍ付近のカールの下付近に設置されており、そのような地形の影響で水は豊富だ。勿論水は無料で提供され、シャワーもあり、トイレは水洗で豊かな水を有効に活用している山小屋だ。下山後今日の剱岳踏破の成功を祝い乾杯して鋭気を養った。**

**9月10日**

**天候が良ければ、奥大日岳を踏破する予定であったが、天候が思わしくなく、出発時間の6:00ごろには剱岳の頂上付近は雲に覆われ、奥大日岳の頂上に登っても眺望は望めそうもないと判断し登山を断念、室堂に下山先に決めて行動を開始した。7:15に剱御前小屋に到着したがあたりは雲に覆われ、風が強く気温もかなり下がってきていたので、天候がさらに悪化しないうちに下山をしようと先を急いだ。7:30に剱御前小屋を後にし、一路雷鳥沢キャンプ場を目指した。しかし下山途中で天候は良好方向に変わり始め、再び太陽が見え始めた。6名の体力はもうそんなに残っていず、再び奥大日岳を目指そうという者は誰もいなかった。8:35に雷鳥沢キャンプ場に到着。室堂の遊歩道を歩き、地獄谷を経由して「みくりが池温泉」に行こうとしたが、地獄谷の火山活動が活発化し始め有毒ガスの発生が危惧されることから、そのルートは閉鎖されていた。仕方がないので「みくりが池」を回る道を経由して温泉に到着した。温泉で4日ぶりの汗を流し、気持ちのいいひと時を味わった。13時ごろ立山駅を2台の車で帰路についいた。帰宅は21時頃であった。**

**以上**